

(24)急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率

分子：分母のうち、退院時処方アスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数

分母：レセプト病名から推計された医療資源病名が「急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞」の退院患者数。ただし、以下の場合を除外する。

- ・退院時転帰が死亡であった患者
- ・退院先が「他院へ転院（入院）した場合」あるいは「その他(介護老人保健施設，介護老人福祉施設等への転所)」に該当する患者
- ・入院時に既にアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルを服用中の患者

収集期間： DPC 以外病院：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

急性心筋梗塞は心臓に血液を送っている冠動脈が動脈硬化等によって細くなり、それが血栓などで詰まってしまふことによって、心筋が壊死してしまふ疾患です。ポンプ機能の低下あるいは併存症である不整脈などによって死にいたることもある重篤な疾患です。

急性期の治療後は再梗塞を予防するために、血栓の形成抑制効果のあるアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルを処方することがガイドライン等で推奨されています。

指標 24：急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率

医療機関種別	医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
DPC以外病院	230400417	愛知県済生会リハビリテーション病院	22	13	59.1%
DPC以外病院		10例未満(5病院)	19	9	47.4%
		DPC以外病院 全体	41	22	53.7%

